

科 目 名	医療コミュニケーション学 [科目番号：41618120]		
学 期	S 1	単 位 数	2 単位
曜日・授業時間帯	火曜 3、4 時限		
場 所	医学部教育研究棟 13 階 公共健康医学専攻 (SPH) 講義室		
担 当 教 員	木内貴弘 石川ひろの		
授 業 の 目 的	<p>本講義の目的は、医療コミュニケーション（ヘルスコミュニケーション）の理論と実践を体系的に学習することにある。</p> <p>医療コミュニケーション学（ヘルスコミュニケーション学）とは、医療・公衆衛生分野を対象としたコミュニケーション学であり、医療従事者間、医療従事者と患者市民間、患者市民間等における健康や医療に関連した知識や情報などのコミュニケーションを対象とする。医療コミュニケーションは、医学・医療と社会のインターフェイスとして、パブリックヘルス分野において、非常に重要な意味を持っている。従来、ヒト対ヒトのいわゆるヒューマンコミュニケーションを主体に考えられてきたが、現在では、これに加えて、インターネット、マスメディア、コンピュータ・ゲーム機等を介したコミュニケーションの意義・役割も増大している。</p> <p>本講義では、保健医療・公衆衛生分野における専門職として効果的なコミュニケーションを実践するために必要な、(1)コミュニケーションの理論体系、(2)コミュニケーションの具体的な方略やスキル、(3)コミュニケーションの評価・分析方法等を取り扱う。本講義の受講によって、医療コミュニケーションを実践し、改善していくために必要な基礎的な知識を得ることができる。</p>		
授 業 の 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各回 1 テーマの講義を行う。 ・ テーマに基づいた追加資料の配布や実例の紹介を行うことがある。 		
授業計画及び内容 (各回のテーマ)	日時	内容	担当
	4 月 5 日(火) 13:00-14:45	医療コミュニケーション学概論 医療コミュニケーション学とは	木内貴弘
	4 月 5 日(火) 14:55-16:40	コミュニケーション教育 保健医療専門職の教育とプロフェッショナルリズム	北村聖 (医学教育国際研究センター)
	4 月 19 日(火) 13:00-14:45	ヘルス・コミュニケーションの方略① 個人の行動変容を促すコミュニケーション	石川雄一 (日本ヘルスサイエンスセンター)
	4 月 19 日(火) 14:55-16:40	ヘルス・コミュニケーションの方略② 集団の行動変容を促すコミュニケーション	石川善樹 (株式会社 キャンサースキャン)
	4 月 26 日(火) 13:00-14:45	患者・市民の視点 患者市民からみた医療者との関係とコミュニケーション	山口育子 (COML)
	4 月 26 日(火) 14:55-16:40	グループ・組織のコミュニケーション コミュニケーションネットワークとエラー	石川ひろの
	5 月 10 日(火) 13:00-14:45	メディア・コミュニケーション① テレビ	市川衛 (NHK)
	5 月 10 日(火) 14:55-16:40	メディア・コミュニケーション② 新聞	本田麻由美 (読売新聞)
	5 月 17 日(火) 13:00-14:45	ヘルス・コミュニケーションの方略③ 行動変容を促す保健医療文書の作り方	奥原剛
	5 月 17 日(火) 14:55-16:40	コミュニケーション研究 医療コミュニケーションの評価と実証研究	石川ひろの

	5月24日(火) 13:00-14:45	ヘルス・コミュニケーションの方略④ エンターテイメント・エデュケーション	加藤美生
	5月24日(火) 14:55-16:40	政策形成とアドボカシーのコミュニケーション 政策形成過程で生じる多角的コミュニケーションの事例分析	田口空一郎 (医療の質に関する研究会)
	5月31日(火) 13:00-14:45	メディア・コミュニケーション③ インターネット	中山和弘 (聖路加国際大学)
	5月31日(火) 14:55-16:40	まとめ グループ討論と総合討論	石川ひろの
教科書・参考書等	<ul style="list-style-type: none"> • Athena du Pre. Communicating About Health: Current Issues and Perspectives. 4th ed. Oxford University Press. 2013 • Peter G. Northouse & Laurel L. Northouse 著. 萩原明人 訳. ヘルス・コミュニケーション 改訂版. 九州大学出版会. 2010 • Debra L. Roter & Judith A. Hall 著. 石川ひろの、武田裕子 訳. 患者と医師のコミュニケーション—より良い関係作りの科学的根拠. 篠原出版新社. 2007 • 藤崎和彦、橋本英樹 著. 医療コミュニケーション研究会 編. 医療コミュニケーション—実証研究への多面的アプローチ. 篠原出版新社. 2010 		
成績評価の方法	講義への出席 (30%)、レポート (70%) による。		
他の授業との関連	医療コミュニケーション学演習の前に受講することが望ましい。健康社会学、健康教育学、社会と健康Ⅱ、健康増進科学、医療安全管理学、医学研究と CDISC 標準と関連が深い。		
備考	前年度の授業評価アンケートに基づき、最終日に講義全体を俯瞰して考える総合ディスカッションの時間を設けた。		